

2022年9月28日  
株式会社 NTT ドコモ

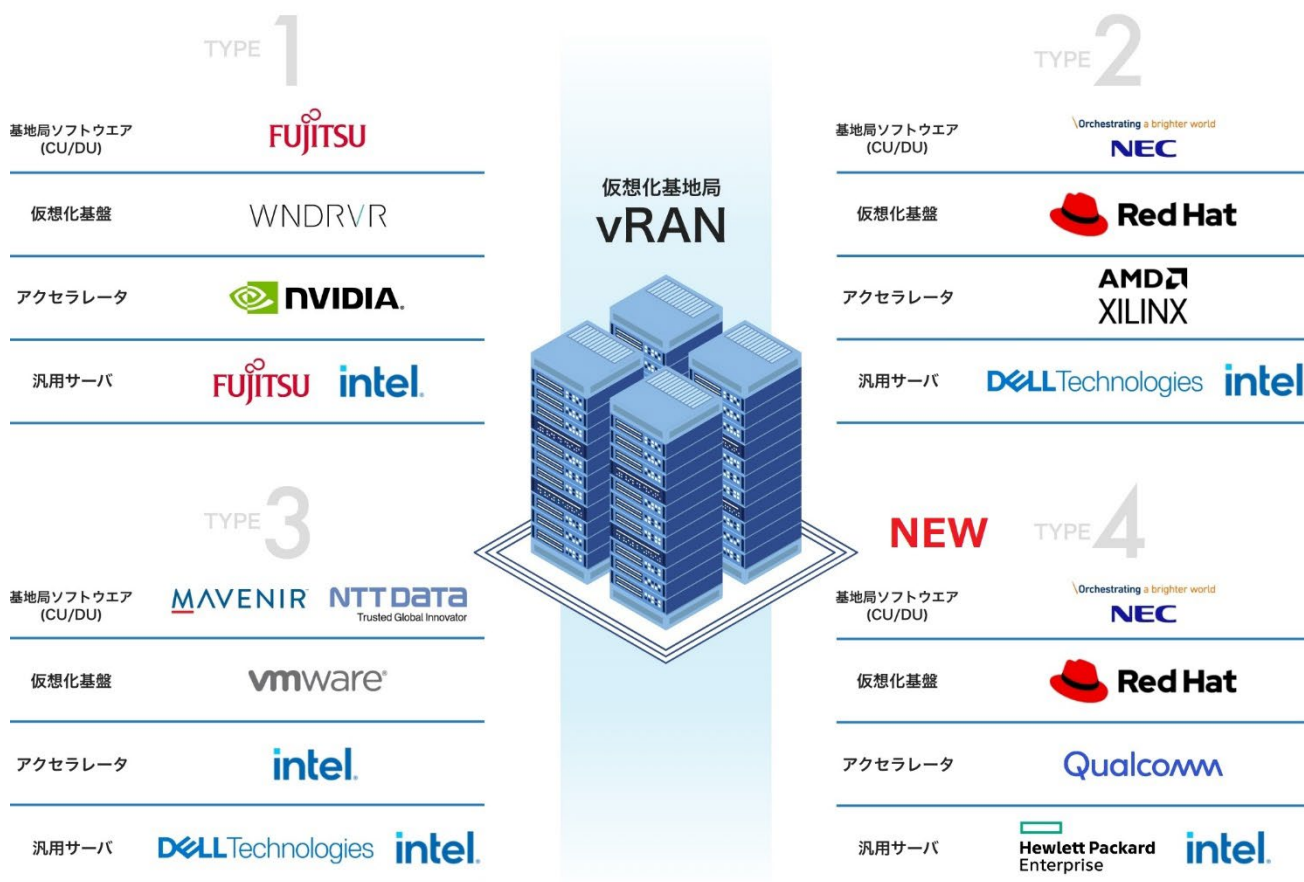
## オープン RAN の普及に向けて、仮想化基地局の検証環境を拡充

～海外の通信事業者の多様なニーズに応える～

株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）は、異なる通信機器ベンダーの組み合わせで通信ネットワークを構築する「オープン RAN（ラン）」の普及に向けて、複数のベンダーの製品を組み合わせた仮想化基地局の検証を進めています。この度、海外の通信事業者の多様なニーズに柔軟に応えるために、検証環境に新たな構成の仮想化基地局を追加することを、2022年9月28日（水）に決定しました。

新たに検証を開始する仮想化基地局は、日本電気株式会社（以下、NEC）の基地局ソフトウェア、レッドハット株式会社（以下、レッドハット）の Red Hat OpenShift、Qualcomm Technologies, Inc（以下、クアルコム）のアクセラレータ、Hewlett Packard Enterprise（以下、HPE）の汎用サーバの組み合わせにより構成されます。このうち、オープン RAN 向けに最適化された「Qualcomm® X 100 5 G RAN アクセラレーターカード」と「HPE ProLiant DL110 Telco サーバー」をドコモとして初めて採用し、システム性能と電力効率の向上を図ります。

### <仮想化基地局>



ドコモは仮想化基地局の性能などを検証するため、世界中の通信事業者向けに仮想化基地局の検証環境である「シェアドオープンラボ（以下、本ラボ）」を2022年2月より提供しています。これまでは3種類の仮想化基地局の構成で検証環境を提供しています。今回追加する新しい構成は、2023年以降、本ラボで検証が行えるようになります。

世界中で 5G が普及する中で、特定の通信機器ベンダーに依存せず、自由な組み合わせで通信ネットワークを構築するオープン RAN の活用に注目が集まっていますが、ドコモは 3G 時代から複数ベンダーの基地局を採用して相互接続を行ってきた世界で唯一の実績を活かし、海外の通信事業者向けに導入支援を行っています。

2021 年 2 月には、世界各国の通信機器ベンダー 12 社とともにオープン RAN を推進する「5G オープン RAN エコシステム」(以下、OREC) ※を設立しており、この度検証を開始する新たな構成についても、OREC に参加するパートナー企業の連携により実現しました。

ドコモは OREC のパートナー企業とともに、今後も仮想化基地局を構成する組み合わせを拡充し、柔軟で拡張性の高い仮想化基地局の 2022 年度中の商用化をめざしています。

オープン RAN の推進を通じて、ドコモは世界中の通信ネットワークの効率的で自由な構築の実現に貢献してまいります。

※ OREC は、AMD、NVIDIA、Qualcomm Technologies, Inc.、Wind River、インテル株式会社、グイムウェア株式会社、株式会社 NTT データ、デル・テクノロジーズ株式会社、日本電気株式会社、日本ヒューレット・パッカート合同会社、富士通株式会社、マベニア、レッドハット株式会社およびドコモの 14 社により構成されます。

|  |
|--|
| 本件に関する報道機関からのお問い合わせ先                         |
| 株式会社 NTT ドコモ                                 |
| R&D 戦略部 グローバル技術推進室                           |
| Mail: 5g_open_ran_ecosystem-ml@nttdocomo.com |

## 新たな仮想化基地局を構成する企業からのコメント

### **1. フィル・クトローネ (Phil Cutrone) 、Hewlett Packard Enterprise, OEM およびコンピュータ部門 シニアバイスプレジデント兼ゼネラルマネージャー**

HPE は、ドコモおよび他の戦略的パートナーと協力して、オープン RAN の発展を促進し、5G の需要に対応できることをうれしく思います。また、NEC、クアルコム、レッドハットとの密な連携によって実現した仮想化基地局は、ネットワーク設備に関わる課題に取り組む通信事業者にとって、5G エリアを拡大する際の一助になると考えます。

### **2. Patrick Lopez, NEC's VP of 5G Products**

NEC は、私たちの強力なパートナーであるドコモや他の業界リーダーたちとこの新しい構成で連携できることを光栄に思います。オープン RAN の先駆者およびリーダーとして、分散型のマルチベンダーコンポーネントがどのように連携して動作できるかを示すことは、当社の市場アプローチの重要な部分です。この新しい仮想化基地局により、次世代のパフォーマンスと省電力への扉が開かれます。

### **3. Honoré LaBourdette, Red Hat Telco, Media and Entertainment 担当バイスプレジデント**

Red Hat は、クラウド・ネイティブやオープンソース・イノベーションのさらなる実現のために業界のリーダーやパートナー企業によるオープンなエコシステムと協力し、サービスプロバイダーにコアからエッジまで安定した接続を提供するための基盤を提供することに尽力しています。Red Hat OpenShift は、業界をリードするエンタープライズ Kubernetes プラットフォームであり、ネットワーク機能を大規模にサポートするために必要な柔軟性と拡張性を提供します。ドコモをはじめとする業界のリーディングカンパニーと協業し、Open RAN をさらに加速させることができることを光栄に思います。

### **4. ドゥルガ・マラディ博士(Durga Malladi Dr.), Qualcomm Technologies, Inc, シニアバイスプレジ デント兼セルラーモデムおよびモバイルインフラストラクチャージェネラルマネージャー**

現行の 5G ネットワークの開発を促進するという共通のビジョンを持ち、ドコモのような業界リーダーとの長年にわたる関係をさらに深め、NEC、Red Hat、HPE のソリューションとともに、Qualcomm X 100 5 G RAN アクセラレーターカードの検証を行うことを大変うれしく思います。